



寺院名物シリーズ㊤ 出雲南組・善徳寺

第25回しまね景観賞「まち・みどり・活動部門」において「善徳寺の大クスノキと鐘つき堂」が優秀賞を受賞いたしました。寺の境内にあるクスノキの大木が、その下にある鐘つき堂を守っているかのように風格ある姿で立っている景色に評価をいただきました。(住職・楠 縁人)

山陰

編集 御同朋の社会をめざす運動
山陰教区委員会
発行 山陰教区事務所
〒690-0003 松江市大正町四四三ノ一
本願寺山陰教堂
TEL 〇八五二 四七四七
FAX 〇八五二 八三五一
発行者 佐々木 了慎

「令和2年7月豪雨」で被災された皆さま、新型コロナウイルス感染症により影響を受けられた皆さまに、心からお見舞い申し上げます。

実践運動の推進に向けて

御同朋の社会をめざす運動
山陰教区委員会副委員長 月洞昇道

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、今年度の教区実践運動の行事はそのほとんどが中止となりました。企画、準備にご尽力された関係者におかれましては、大変な思いをされたことと存じます。また、教区内各寺院におきましても、法要・法座等の休座や日程短縮を余儀なくされ、聴聞の場を提供することができないという、今までに無い経験をすることになりました。さらに法事・葬式といった仏事にも影響は及び、簡略化という流れの中でその姿が変わり、形骸化していくように感じます。

このような状況に直面して、改めてお寺の存在意義が問われているように思われます。自坊でも総代会を開いたおり、お斎を出すか否かという話になりました。話をする中で気づかされたのは、総代さんでさえお斎と食事を同じような感覚で捉えておられることに愕然とし、日頃の教化不足を痛感させられました。お斎の意味が分からなければ法座・法要を勤める意味も分からなくなるでしょう。各家庭

での仏事を行う意味、ひいてはお寺の存在する意味さえ見失われていくでしょう。コロナ禍によつてそのような問題が、一気に顕在化されたのではないのでしょうか。

明治元年に「神仏判然令」が發布され、それを機に廃仏毀釈の嵐が全国で吹き荒れます。その難局に対して多くの先達が立ち向かい、乗り越えて行かれた。この地でも当時の住職方が、浜田県令に本当の意味での「神仏分離」を直接会って説かれたと聞いております。この時を明治政府の政策に影響を受けた「法難」とするならば、現在は自らの拠り所である教えを棄て、壊している「法棄」「法壊」の只中にあると自覚するべきでしょう。

今こそ実践運動を推進していく御同朋として、コロナ禍の中でただ萎縮するのではなく、感染防止には、科学的・医学的根拠に基づきしっかりと対策をした上で、お寺の存在意義を、仏教の真実性を、勇気をもって堂々と伝えてまいりましょう。

教区会議員並びに 組長について

任期満了にともない、教区会議員選挙並びに組長選挙が行われ、新たに二〇二〇（令和二）年四月一日付けにて、教区会議員が選出され、組長においては総局からの任命がありました。

また、左記の通り教区会正副議長、組長会正副会長が選出されました。

山陰教区教区会 正副議長選出について

二〇二〇（令和二）年六月八日、山陰教堂にて開催した臨時教区会において、教区会議員並びに教区会副議長が選出されました。

教区会議長

月洞昇道（三隅組禮光寺）

教区会副議長

澤田暉夫（松江組本誓寺）

山陰教区組長会

正副組長会長について

二〇二〇（令和二）年六月十七日、山陰教堂において、改選後最初の組長会を開催し、正副組長会長が次の通り選任されました。

組長会長

三明浄信（大田西組照善坊）

副会長

吉田史章（松江組眞光寺）

山陰教区 教区会議員・組長 一覧

自：2020 (令和2) 年4月1日 至：2024 (令和6) 年3月31日

	組 名	所属寺	教区会僧侶議員	所属寺	教区会門徒議員	所属寺	組 長
01	鳥取因幡組	光輪寺	山田 節子	西念寺	山根 一記	養源寺	山名 立洋
02	鳥取伯耆組	覺善寺	千石 祐正	香寶寺	水野 彰	香寶寺	上杉 信成
03	松 江 組	明宗寺	楠 信也	本誓寺	澤田 暉夫	眞光寺	吉田 史章
04	出 雲 組	源光寺	西谷 正文	専立寺	岡田 好史	通傳寺	西谷 啓翠
05	神 門 組	長楽寺	藤野 昭信	明顯寺	樋野 宏文	明顯寺	鈴木 二郎
06	出 雲 南 組	萬行寺	巖 紀恵子	萬行寺	濱村 雅男	善福寺	蘿 裕章
07	飯 南 組	一念寺	熊谷 高暢	一念寺	大森 民雄	西正寺	佐和田 裕
08	大 田 東 組	高林寺	菅原 俊軌	真浄寺	竹本 嘉人	極楽寺	福間 信隆
09	大 田 中 組	満行寺	石水 秋香	玉泉寺	三井 隆治	善正寺	津村 信隆
10	大 田 西 組	龍藏寺	石井 義則	龍藏寺	眞野 明政	照善坊	三明 浄信
11	佐 波 組	西蓮寺	源 連城	明光寺	尾原 繁樹	専教寺	渡邊 泰文
12	川 本 組	福泉寺	松林 茂	法隆寺	大迫 幸人	福常坊	福井 義信
13	千 須 賀 組	浄福寺	小玉 教雄	照立寺	中原 康隆	西蓮寺	口羽 義秀
14	邑 智 東 組	玄祐寺	野田 義仁	明覚寺	増田 新	西善寺	高倉 宗隆
15	邑 智 西 組	西善寺	朝枝 弘照	願入寺	平岡 健	願入寺	日高 秀憲
16	江 津 組	円覚寺	小笠原義敬	法正寺	岩根 正博	長玄寺	岡本 広樹
17	浜 田 組	眞光寺	大原 孝見	清岸寺	塚崎 育生	清岸寺	服部 浩明
18	三 隅 組	禮光寺	月洞 昇道	浄圓寺	篠原 修司	勝龍寺	紀 真
19	益 田 組	泉光寺	木村 雅信	泉光寺	寺井 良徳	蓮長寺	藤谷 一劍
20	鹿 足 組	浄徳寺	大野 憲悠	正法寺	伊藤 義照	常光寺	富岡 芳史

小笠原義宣宗会議員

ご逝去

山陰教区選出の宗会議員・小笠原義宣氏（邑智東組西福寺）が、去る二〇二〇（令和二）年八月二十日にご逝去されました。ご生前を偲び、謹んでお悔やみ申しあげます。

故小笠原氏は、教区会議員、教区基幹運動推進委員、中央基幹運動推進委員を歴任後、二〇〇五（平成十七）年から十五年間にわたり宗会議員を務められました。

第二十五代専如門主伝灯奉告法要においては、警備救護本部長・誘導整理本部長にご就任。布教使としてのご活動にも尽力され、一九九九（平成十一）年から教区布教団副団長、二〇〇四（平成十六）年から、教区布教団参与をお務めいただきました。満七十二歳。



令和二年七月豪雨について

本年七月に発生しました「令和二年七月豪雨」で被害に遭われた皆さまに衷心よりお見舞い申しあげます。

山陰教区においては、江の川流域で氾濫が発生し、多くのご門徒が被災されました。

被害状況は、所属寺院のご住職様から組長様を通して教務所にお知らせいただきました。教区における被災状況、対応については、次の通りです。

一、被災状況

寺院被害 一件

浜田組一件

被害状況…庫裏一部損壊

門徒被害 四十一件

大田西組五件、川本組十五件、

邑智東組三件、邑智西組三件、

江津組十五件

被害状況…床上浸水、床下浸水

二、教区の対応

七月十八日（土）、七月二十三日（木）、教務所長、職員が、被害に遭われたご門徒が所属されるご寺院へお見舞いに伺いました。

七月三十一日（金）、教区災害対策委員会を開催。豪雨災害への対応について協議し、教区災害見舞金給付基準に基づき、教区災害見舞金を組長様を通して八月六日付、お届けいたしました。

義捐金を

お寄せいただいた方々

「令和二年七月豪雨」について、教区内外から当教務所宛に心温まる義捐金を頂戴しております。

お寄せいただいた義捐金については、被害に遭われた方々へお渡しいたします。

皆さまのご支援、ご協力に感謝申しあげますとともに、一日も早い復興を念じます。

新潟教区教務所、四州教区教務所、備後教区教務所、安芸教区教務所、山口教区教務所、佐賀教区教務所、邑智西組、四州教区門徒総代会、四州教区仏教婦人会連盟、四州教区寺族女性連盟、山陰教区仏教婦人会連盟、山陰教区寺族婦人会連盟

（敬称略）

二〇二〇（令和二）年九月三十日現在



「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」スローガン・ロゴが決まりました



横白

ロゴマークの画像は、浄土真宗本願寺派ウェブサイトからダウンロードして活用いただけます。各種印刷物にご利用ください。

二〇二〇（令和二）年度 御同朋の社会をめざす運動（実践運動） 山陰教区委員会（総会）報告

一、日 時 二〇二〇（令和二）年
七月二十八日（火）

午前十一時～午後二時二十五分

二、会 場 本願寺山陰教堂

教化センター 研修室

三、協議事項

（一）役員選出・担当者会承認について

① 概要説明（事務局）

② 正・副委員長選出

委員長 佐々木了慎 教務所長

副委員長 月洞昇道 委員

副委員長 三明淨信 委員

③ 中央委員会委員（教区代表）選出

中央委員会委員 波北 顕 委員

④ 部会・部員選定

事務局試案の通り承認（各名簿参照）

⑤ 正・副部長選出

〈同朋・社会部会〉

部 長 三谷卓良 委員

副部長 毛利孔晶 委員

〈寺院活動支援部会〉

部 長 西原真公 委員

副部長 武田正文 委員

〈伝道・広報部会〉

部 長 松林 茂 委員

副部長 柳樂由乗 委員

⑥ 常任委員選出

事務局試案の通り承認（各名簿参照）

⑦ 担当者会承認

事務局試案の通り承認（各名簿参照）

（二）山陰教区総合基本計画・重点プロジェクト承認について

事務局から、宗門総合基本計画並びに重点プロジェクトについて説明の後、山陰教区総合基本計画（案）、山陰教区重点プロジェクト（案）について説明。原案通り承認

※教区重点プロジェクトリーダー・サブリーダー選出

教務所職員が担当することです承。

重点プロジェクトリーダー 黒河敬生（賛事）

重点プロジェクトサブリーダー 瀧 純吾（書記）

（三）部会協議

部会ごとに今年度事業について協議の後、全体会において発表。

（四）全体会

〈同朋・社会部会〉

・七月十四日（火）同朋社会研修会については、コロナウイルス感染症拡大が進んでいることから、今年度は中止とした。来年度に改めて開催をしたい。

・委員長（教務所長）から提案のあった「フードバンク活動」に

ついて、今年度は、準備検討期間として、実態調査を行い、様々な団体（社協・NPOなど）との連携やネットワークの中で進めていきたい。また、コロナウイルス感染症拡大の影響で貧困問題の状況が大きく変わりつつあり、この問題についても検討していきたい。

・差別問題については、部落解放島根県講座に参加し、学習の場とさせていただいている。

・平和の鐘については、参加寺院が少しずつあるが増えつつある。この趣旨を理解し考える場となるよう研修会・学習会も合わせた取り組みを奨励していきたい。

〈寺院活動支援部会〉

・連研の推進については、担当者会が未開催のため、今後、検討予定。

・子ども・若者ご縁づくりについて、サポーター研修会は中止とし、今年度は、キッズサンガ通信の発行と「しおり」の頒布を行っていきたい。

・ご縁まち交流は、過去五回開催。昨年度は二回開催。参加者が集まりにくく、またその先の一歩がなかなか進みにくい。一旦休止とし、今後は、違った形で企画を考えていきたい。

・教化団体との連携について、今後、合同で開催できるものは実施していきたい。

（五）その他

〈事務連絡〉

・今年度から、組重点プロジェクトリーダー・サブリーダーが選任される。教区委員会との連携等については常任委員会で協議していきたい。

・次回総会は、二〇二一年（令和三）年二月中を予定。

〈委員からの意見〉

・二〇二三（令和五）年に修行される「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」に向けて、これから歩んでいくということをしっかりと受けとめておくことが大切であると思う。

・門推実践運動研修会 三月を予定（詳細未定）

・仏婦実践運動研修会 九月二十九日（火）延期または中止を検討中。

・過疎対策について、コロナウイルス感染症拡大の影響の中で「家族葬」「葬儀の簡素化」が進んでいる。過疎対応支援員とも連携しながら取り組んでいきたい。

（伝道・広報部会）

・僧侶研修会について、九月十日（木）予定していたが、延期とし、年度内の開催を目指している。

・教区報は、行事縮小により記事の集まりが難しいため、年二回（例年三回）発行とする。

（例年三回）発行とする。

（五）その他

〈事務連絡〉

・今年度から、組重点プロジェクトリーダー・サブリーダーが選任される。教区委員会との連携等については常任委員会で協議していきたい。

・次回総会は、二〇二一年（令和三）年二月中を予定。

〈委員からの意見〉

・二〇二三（令和五）年に修行される「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」に向けて、これから歩んでいくということをしっかりと受けとめておくことが大切であると思う。

・二〇二三（令和五）年に修行される「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」に向けて、これから歩んでいくということをしっかりと受けとめておくことが大切であると思う。

・二〇二三（令和五）年に修行される「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」に向けて、これから歩んでいくということをしっかりと受けとめておくことが大切であると思う。

・二〇二三（令和五）年に修行される「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」に向けて、これから歩んでいくということをしっかりと受けとめておくことが大切であると思う。

・二〇二三（令和五）年に修行される「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」に向けて、これから歩んでいくということをしっかりと受けとめておくことが大切であると思う。

・二〇二三（令和五）年に修行される「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」に向けて、これから歩んでいくということをしっかりと受けとめておくことが大切であると思う。

・二〇二三（令和五）年に修行される「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」に向けて、これから歩んでいくということをしっかりと受けとめておくことが大切であると思う。

・二〇二三（令和五）年に修行される「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」に向けて、これから歩んでいくということをしっかりと受けとめておくことが大切であると思う。

・二〇二三（令和五）年に修行される「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」に向けて、これから歩んでいくということをしっかりと受けとめておくことが大切であると思う。

・二〇二三（令和五）年に修行される「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」に向けて、これから歩んでいくということをしっかりと受けとめておくことが大切であると思う。

・二〇二三（令和五）年に修行される「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」に向けて、これから歩んでいくということをしっかりと受けとめておくことが大切であると思う。

・二〇二三（令和五）年に修行される「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」に向けて、これから歩んでいくということをしっかりと受けとめておくことが大切であると思う。

・二〇二三（令和五）年に修行される「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」に向けて、これから歩んでいくということをしっかりと受けとめておくことが大切であると思う。

・二〇二三（令和五）年に修行される「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」に向けて、これから歩んでいくということをしっかりと受けとめておくことが大切であると思う。

・二〇二三（令和五）年に修行される「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」に向けて、これから歩んでいくということをしっかりと受けとめておくことが大切であると思う。

・二〇二三（令和五）年に修行される「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」に向けて、これから歩んでいくということをしっかりと受けとめておくことが大切であると思う。

・二〇二三（令和五）年に修行される「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」に向けて、これから歩んでいくということをしっかりと受けとめておくことが大切であると思う。

・二〇二三（令和五）年に修行される「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」に向けて、これから歩んでいくということをしっかりと受けとめておくことが大切であると思う。

・二〇二三（令和五）年に修行される「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」に向けて、これから歩んでいくということをしっかりと受けとめておくことが大切であると思う。

・二〇二三（令和五）年に修行される「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」に向けて、これから歩んでいくということをしっかりと受けとめておくことが大切であると思う。

・二〇二三（令和五）年に修行される「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」に向けて、これから歩んでいくということをしっかりと受けとめておくことが大切であると思う。

・二〇二三（令和五）年に修行される「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」に向けて、これから歩んでいくということをしっかりと受けとめておくことが大切であると思う。

・二〇二三（令和五）年に修行される「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」に向けて、これから歩んでいくということをしっかりと受けとめておくことが大切であると思う。

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) 山陰教区総合基本計画

1. 基本理念

宗祖親鸞聖人は、混迷した世の中に、阿弥陀如来に等しく救われていく往生浄土の教えを示してくださいました。そして苦悩する人々と共に「御同朋・御同行」の精神でお念仏の教えを広く伝えていかれました。宗門にかかわる全ての人々がそのお心を受け、教団の抱える課題克服のために、「御同朋の社会をめざして」という目標を掲げ基幹運動(門信徒会運動・同朋運動)に取り組み、力を尽くしてきました。

専如門主は、ご親教『念仏者の生き方』において、「国の内外、あらゆる人びとに阿弥陀如来の智慧と慈悲を正しく、わかりやすく伝え、そのお心になうよう私たち一人ひとりが行動することにより、自他ともに心豊かに生きていくことのできる社会の実現に努めたいと思います。世界の幸せのため、実践運動の推進を通し、ともに確かな歩みを進めてまいりましょう」とお示しになっています。

私たちは、み教えに生かされ、み教えをひろめ、宗門の英知を結集しながら、御同朋の社会をめざす運動(実践運動)を力強く進めていきます。

2. スローガン

【結ぶ絆から、広がるご縁へ】

3. 実践目標

- ・〈貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～〉—子どもたちを育むために— ※ 宗門全体の実践目標
- ・日常の寺院活動 ※ 教区独自の実践目標

4. 達成目標

〈同朋・社会部会〉

貧困問題の克服に向けた取り組み

差別、平和、環境などの社会問題への取り組み

法名・差別問題への取り組みを各組へ推進する

〈寺院活動支援部会〉

寺院機能の活性化、教化団体の連携、過疎地域寺院対策

〈伝道・広報部会〉

時代・社会に即応する教学、文書視聴覚伝道



御本山用達
株式会社
川勝法衣店

0120-075-055
〒600-8344 京都市下京区花屋町通油小路東入
TEL.075-371-0367(代)
FAX.075-371-5088

印刷と出版でできること。
編集・デザイン・印刷・出版のプロとして
様々なソリューションを提供する。
人と向き合い、地域と向き合い一緒にやっていくこと。
それが私たちにできる、地域貢献のカタチだと考えています。

お客様の良き相談相手になることを目指します
株式会社谷口印刷
ハーベスト出版



「御同朋の社会をめざす運動」山陰教区委員名簿(部会別)

任期: 2020(令和2)年4月1日～2022(令和4)年3月31日

	組名	寺院名	実践運動委員	在任期間	役職・部会	備 考
1	山陰教区教務所		佐々木了慎 ※	一	委員長	教務所長
2	三 隅	禮光寺	月洞 昇道 ※	1 期	副委員長	教区会議長
3	大 田 西	照善坊	三明 淨信 ※	1 期	副委員長	組長会長
4	江 津	西教寺	三谷 卓良 ※	3 期	同朋・社会部会部長	ビハーク山陰
5	千 須 賀	眞淨寺	毛利 孔晶	2 期	同朋・社会部会副部長	組選出者
6	松 江	眞光寺	吉田 史章 ※	1 期	同朋・社会部会	組長会副会長
7	飯 南	福蔵坊	高橋 浩文	2 期	同朋・社会部会	組選出者
8	大 田 東	正蔵坊	菅原 憲	1 期	同朋・社会部会	組選出者
9	川 本	法隆寺	岩 義博	1 期	同朋・社会部会	組選出者
10	邑 智 西	善教寺	服部 法子	3 期	同朋・社会部会	組選出者
11	浜 田	金蔵寺	朝枝 成	1 期	同朋・社会部会	組選出者
12	三 隅	淨蓮寺	早川 寛之	1 期	同朋・社会部会	組選出者
13	益 田	安養寺	山鳥 一道	1 期	同朋・社会部会	組選出者
14	鹿 足	正法寺	須山 成顕	3 期	同朋・社会部会	組選出者
15	佐 波	浄土寺	西原 真公 ※	4 期	寺院活動支援部会部長	組選出者・子ども・若者ご縁づくり
16	邑 智 東	高善寺	武田 正文	2 期	寺院活動支援部会副部長	仏教青年連盟
17	松 江	本誓寺	澤田 暉夫	1 期	寺院活動支援部会	教区会副議長
18	浜 田	正念寺	鎌原 茂幸 ※	1 期	寺院活動支援部会	門徒総代会
19	松 江	明宗寺	福原 一字 ※	2 期	寺院活動支援部会	門徒推進員
20	大 田 東	常見寺	大迫五十鈴 ※	3 期	寺院活動支援部会	仏教婦人会連盟
21	出 雲	源光寺	西谷 正文	5 期	寺院活動支援部会	保育連盟
22	江 津	光善寺	波北 顕 ※	4 期	中央委員・寺院活動支援部会	少年連盟
23	大 田 西	龍蔵寺	眞野 明政 ※	1 期	寺院活動支援部会	仏教壮年会連盟
24	川 本	福常坊	福井 春美 ※	2 期	寺院活動支援部会	寺族婦人会連盟
25	江 津	長玄寺	岡本 広樹	1 期	寺院活動支援部会	過疎対応支援員
26	松 江	西宗寺	高野 睦	1 期	寺院活動支援部会	組選出者
27	大 田 西	瑞泉寺	三明 慶輝	1 期	寺院活動支援部会	組選出者
28	川 本	福泉寺	松林 茂 ※	4 期	伝道・広報部会部長	教区会議員
29	出 雲	龍善寺	柳樂 由乗	3 期	伝道・広報部会副部長	組選出者
30	神 門	乗光寺	北島 清秀	5 期	伝道・広報部会	布教団
31	三 隅	妙蓮寺	小原 静伍	2 期	伝道・広報部会	勤士指導員
32	鳥取因幡	願正寺	衣笠 告也	1 期	伝道・広報部会	組選出者
33	鳥取伯耆	眞光寺	藤谷 顕正	1 期	伝道・広報部会	組選出者
34	神 門	西園寺	佐々木弘信	1 期	伝道・広報部会	組選出者
35	出 雲 南	善徳寺	楠 縁人	1 期	伝道・広報部会	組選出者
36	大 田 中	淨福寺	高津 眞悟	1 期	伝道・広報部会	組選出者
37	邑 智 東	西林坊	澤田 誠之	1 期	伝道・広報部会	組選出者
38	江 津	浄光寺	能美 顕之	1 期	伝道・広報部会	組選出者

※ 印は常任委員会委員

「御同朋の社会をめざす運動」山陰教区 担当者名簿

任期: 2020(令和2)年4月1日～2022(令和4)年3月31日

所掌部会	担当名	担当者				
同朋・社会部会	同朋社会研修会担当	三谷卓良 (担当長)	毛利孔晶 (副担当長)	吉田 史章	高橋 浩文	菅原 憲
		岩 義博	服部 法子	朝枝 成	早川 寛之	山鳥 一道
		須山 成顕				
寺院活動支援部会	連研担当	吉川光城 (担当長)	金盛麻衣子 (副担当長)	北島 清秀	福原 一字	
	子ども・若者ご縁づくり担当	西原真公 (担当長)	村上 元 (副担当長)	衣笠 千秋	上杉 信成	金盛麻衣子
		武田 正文	石橋 直人	波北 顕		
伝道・広報部会	ご縁まち交流担当	西原真公 (担当長)				
	カレンダー担当	大草顕信 (担当長)	梅田淳敬 (副担当長)	衣笠 告也	菅原 昭生	菅 和順
	教区報担当	瑞光倫浩 (担当長)	上杉信成 (副担当長)	柳樂 由乗	鈴木 二郎	菅原 敦樹
		岡本 一代	岡崎 正興			
	僧侶研修会担当	松林 茂 (担当長)	柳樂由乗 (副担当長)	北島 清秀	衣笠 告也	藤谷 顕正
		佐々木弘信	楠 縁人	高津 眞悟	澤田 誠之	能美 顕之
	勤士担当	小原静伍 (担当長)	山崎崇峰 (副担当長)	藤野 敬信	佐々木かわり	朋澤 融智

三月五日(木)に「山陰教区布教団地区別布教大会」が邑智ブロック担当で開催されました。当初の予定では、一日目に各会所にてご法座後、懇親会、二日目は、ご講師をお招きして研修会を企画しておりましたが、新型コロナウイルスの影響により、このたびは、規模を縮小して、ご法座のみ(二会所)の開催となりました。大会に向けて準備を進めてくださったご寺院並びにご講師の皆さまには急な変更でご迷惑をおかけすることとなり、この場をお借りして改めてお詫び申し上げます。

地区別布教大会開催

期 日 二〇二〇(令和二年)六月二十五日(木)
会 場 本願寺山陰教堂 教化センター 研修室
今年度は、新型コロナウイルスの影響により、研修会は中止とし、総会のみで開催となりました。総会では、前年度事業・決算報告、監査報告に続いて役員改選が行われ、その後、新役員のもとで今年度事業計画(案)・予算(案)について協議、承認されました。また、このたびの総会では、「規約一部変更」についても承認され、副団長の人数が二人から三人以内に変更となりました。

二〇二〇(令和二年)度山陰教区布教団総会

山陰教区布教団役員名簿

任期：2020(令和2)年4月1日～2022(令和4)年3月31日

役職	組名	寺号	氏名
団 長	山陰教区教務所		佐々木 了慎
副 団 長	神 門 組	乗光寺	北島 清秀
副団長(代表委員)	大 田 西 組	願林寺	窪田 英俊
副 団 長	江 津 組	長玄寺	岡本 広樹
委 員	鳥取伯耆組	妙寂寺	兜坂 彰英
委 員	飯 南 組	西正寺	佐和田 裕
委 員	大 田 中 組	長泉寺	中村 英晴
委 員	邑 智 東 組	眞清寺	瑞光 倫浩
委 員	佐 波 組	浄土寺	西原 真公
委 員	三 隅 組	禮光寺	月洞 昇道
女性代表	邑 智 西 組	天蔵寺	津田 浩子
青年代表	三 隅 組	明顯寺	佐々木かおり
幹 事	山陰教区教務所		黒河 敬生
監 事	出 雲 組	覚専寺	佐々木俊教
監 事	浜 田 組	清岸寺	服部 浩明

山陰教区 重点プロジェクト

スローガン 結ぶ絆から、広がるご縁へ

重点プロジェクト 推進計画	実践目標	・＜貧困の克服に向けて～ リウコン　こくかく　む Dana for World Peace～＞ ー子どもたちを育むためにー
	期　　間	2020（令和2）年度～2023（令和5）年度
	達成目標	＜同朋・社会部会＞ 貧困問題の克服に向けた取り組み 差別、平和、環境などの社会問題への取り組み 法名・差別問題への取り組みを各組へ推進する ＜寺院活動支援部会＞ 寺院機能の活性化、教化団体の連携、過疎地域寺院対策 ＜伝道・広報部会＞ 時代・社会に即応する教学、文書視聴覚伝道
	令和一 年度	＜同朋・社会部会＞ ・貧困問題の克服に向けた具体的な取り組みを検討 ・差別、平和、環境などの社会問題に取り組む ・法名・差別問題への取り組みを各組へ推進する ＜寺院活動支援部会＞ ・連研実施組の拡大について取り組む ・次世代を担う世代への教化伝道活動を行う ・過疎問題に取り組む ＜伝道・広報部会＞ ・伝道資料を用いた教化伝道活動を行う ・教区報・教区ホームページを充実させる ・僧侶の本分を再認識する研修会（教学、伝道、勤式等）
		令和三 年度
令和四 年度		＜同朋・社会部会＞ ・貧困問題の克服に向けた具体的な取り組みを行う ・差別、平和、環境などの社会問題に取り組む ・法名・差別問題への取り組みを各組へ推進する ＜寺院活動支援部会＞ ・連研実施組の拡大について取り組む ・次世代を担う世代への教化伝道活動を行う ・過疎問題に取り組む ＜伝道・広報部会＞ ・伝道資料を用いた教化伝道活動を行う ・教区報・教区ホームページを充実させる ・僧侶の本分を再認識する研修会（教学、伝道、勤式等）
令和五 年度		＜同朋・社会部会＞ ・貧困問題の克服に向けた具体的な取り組みを行う ・差別、平和、環境などの社会問題に取り組む ・法名・差別問題への取り組みを各組へ推進する ＜寺院活動支援部会＞ ・連研実施組の拡大について取り組む ・次世代を担う世代への教化伝道活動を行う ・過疎問題に取り組む ＜伝道・広報部会＞ ・伝道資料を用いた教化伝道活動を行う ・教区報・教区ホームページを充実させる ・僧侶の本分を再認識する研修会（教学、伝道、勤式等）

2019年度 山陰教区一般会計歳計決算

【歳入】

款	項	2019年度決算額	2019年度予算額	対比△減
1	教区賦課金	35,641,650	35,640,000	1,650
	1 本年度賦課金	35,641,650	35,640,000	1,650
	2 過年度賦課金	0	0	0
2	宗派助成金	29,415,990	29,000,000	415,990
	1 宗派助成金	29,415,990	29,000,000	415,990
3	願記手数料	2,061,500	1,900,000	161,500
	1 願記手数料	2,061,500	1,900,000	161,500
4	回金	1,718,350	1,750,000	△ 31,650
	1 回金	1,718,350	1,750,000	△ 31,650
5	雑収入	2,082,201	1,448,319	633,882
	1 雑収入	2,082,201	1,448,319	633,882
6	前年度繰越金	4,661,681	4,661,681	0
	1 前年度繰越金	4,661,681	4,661,681	0
合 計		75,581,372	74,400,000	1,181,372

【歳出】

款	項	目	2019年度決算額	2019年度予算額	対比 ※ 超過
1	教区事業費		18,037,745	20,060,000	2,022,255
	1	総合教化企画費	1,966,872	2,500,000	533,128
		1 御同朋の社会をめざす運動推進費	1,966,872	2,500,000	533,128
	2	教化費	4,505,802	5,850,000	1,344,198
		1 寺院機能振興費	967,010	1,400,000	432,990
		2 婦人青少年費	1,096,000	1,250,000	154,000
		3 総代・壮年費	300,000	300,000	0
		4 研修費	1,039,418	1,550,000	510,582
		5 矯正福祉費	400,000	500,000	100,000
		6 文書伝道費	697,044	800,000	102,956
		7 教化活動費	6,330	50,000	43,670
	3	助成費	4,943,210	5,060,000	116,790
		1 布教団助成金	350,000	350,000	0
		2 各種団体助成金	390,000	410,000	20,000
		3 地方教化助成費	4,203,210	4,300,000	96,790
	4	災害対策費	6,621,861	6,650,000	28,139
		1 災害対策費	6,621,861	6,650,000	28,139
2	会議費		972,648	1,500,000	527,352
	1	会議費	972,648	1,500,000	527,352
		1 教区会議費	797,748	950,000	152,252
		2 組長会費	147,700	400,000	252,300
		3 各種会議費	7,200	100,000	92,800
		4 職員会議費	20,000	50,000	30,000
3	教務所費		25,775,464	27,100,000	1,324,536
	1	人件費	21,305,926	21,600,000	294,074
		1 教務所職員俸給	11,669,400	11,800,000	130,600
		2 賞与	2,921,000	2,950,000	29,000
		3 退職交付金	1,648,350	1,650,000	1,650
		4 福祉費	2,667,876	2,700,000	32,124

【歳出】

款	項	目	2019年度決算額	2019年度予算額	対比 ※ 超過
	5	諸手当	2,299,300	2,400,000	100,700
	6	教区勤式指導員事務費	100,000	100,000	0
2	事務費		2,798,641	3,400,000	601,359
	1	通信印刷費	1,273,050	1,600,000	326,950
	2	事務消耗品費	518,390	600,000	81,610
	3	事務諸費	858,008	1,000,000	141,992
	4	備品費	149,193	200,000	50,807
3	旅費		1,151,419	1,400,000	248,581
	1	交通費	1,151,419	1,400,000	248,581
4	諸費		519,478	700,000	180,522
	1	慶弔供奠費	150,000	200,000	50,000
	2	接待費	17,301	50,000	32,699
	3	渉外費	195,123	250,000	54,877
	4	雑費	157,054	200,000	42,946
4	回金		24,500,773	24,750,000	249,227
	1	回金	24,500,773	24,750,000	249,227
		1 山陰教堂運営費	22,750,773	23,000,000	249,227
		2 災害対策費	700,000	700,000	0
		3 退職積立金	1,000,000	1,000,000	0
		4 子ども・若者推進事業費	50,000	50,000	0
		5 「各種法要」積立金	0	0	0
		6 平衡資金	0	0	0
5	宗会議員選挙費		0	100,000	100,000
	1	宗会議員選挙費	0	100,000	100,000
		1 宗会議員選挙費	0	100,000	100,000
6	予備費		0	890,000	890,000
	1	予備費	0	890,000	890,000
合 計			69,286,630	74,400,000	5,113,370

歳入合計	75,581,372
歳出合計	69,286,630
差引金額	6,294,742

三隅組では二〇一九年度までの実践目標を「子どもと寺院との結びつきを深める」として活動してきました。研修会の開催や、毎年実施してきた組主催の夏休み子ども会を充実させるとともに、昨年は三隅組としては久しぶりに児童念仏奉仕団に参加することができました。子どもたちは日常と違う経験をする事ができたことを喜んでいました。また、保護者の方たちからは、寺とのつながりを感じておられたと、聞きました。

二〇二〇年度からの実践目標は、「現代と浄土真宗」おくり受け継ぐ教え」としました。六月には住職方を中心に実践運動研修会を開催し、各地寺院の現況、さまざまな取り組みについて研修しました。九月には今年度三隅組が担当の石西三組僧侶研修会において、宗門重点プロジェクト実践目標の「(貧困の克服に向けて) Dana for World Peace」子どもたちを育てるために」をテーマとして研修する予定です。まずは研修を重ね、模索



ドレミファ組

現代と浄土真宗 おくり受け継ぐ教え

三隅組組長 紀 まこと 真

していくことから考えております。

今日、エンゲージド・ブディズムという言葉のもと、さまざまな社会問題に仏教的アプローチが展開されています。この言葉は、ベトナムの禅僧ティック・ナット・ハン(以下ナット・ハン)によって作られ、仏教徒や仏教諸団体等がさまざまな社会問題に取り組み体系を表現しています。しかし、ナット・ハンは、仏教者の社会参加を促す目的でこの言葉を作ったのではなく、ベトナム伝統仏教に対する疑問と希望という熟考があり、仏教に生きる自己を問う「仏教再生」の概念として生まれたようです。ナット・ハンは、仏教を「盾」として社会活動をすることを禁じています。「自己内省」という過程が十分でなければ、社会活動を通して新たな暴力や苦しみが生まれる危険性があることを示唆しています。そして、念仏者の歩みも親鸞聖人の「非僧非俗」「愚禿」の名告りに表れる内省に立ち返っていくことが必要とされるのでしょう。その上

で社会を注視し、実践性を持つことが求められるのではないのでしょうか。

三隅組では念仏者としての学びを深めるご縁として、今年も八月に二日間の三隅組講習会を開催しました。百年を超える歴史を持つ講習会ですが、記録に残る昭和二十三年からの講師のお名前を見ると、先輩方が熱心な学びの時間を過ごされたことが伺われます。これまで伝えられた歴史を大切にしつつ、本年度からの実践目標「現代と浄土真宗」おくり受け継ぐ教え」の達成に向けて、地道な歩みを進めていきます。

第45回全日本仏教徒会議 島根大会延期について

本年4月、大谷光淳ご門主さまが全日本仏教会会長にご就任されました。ご門主(全日仏会長)さまをお迎えして開催される予定でありました「第45回全日本仏教徒会議島根大会」は、2020(令和2)年10月2日(金)、3日(土)の日程でご案内いたしておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、2021(令和3)年10月1日(金)、2日(土)へ延期されることとなりましたので、お知らせいたします。

なお、日程等詳細は再度検討中です。決定次第、あらためてお知らせいたします。

ご本山への団体参拝は弊社へご用命をよろしくお願い致します。

JTB 感動のそばに、いつも。

株式会社 **JTB 松江支店**

〒690-0003

松江市朝日町477-17 松江SUNビル7階

TEL 0852-23-6720

FAX 0852-23-7739

営業時間：9:30～17:30(土・日・祝日休業)

学校法人光幼稚園が運営する、「幼保連携型認定こども園光幼稚園」は、源光寺の前住職夫妻が「光学園」として創立し、その後「光幼稚園」として親しまれ六十八年目を迎えました。創立三十周年を記念して建てられた園舎ですが、外見はしっかりとしているものの、内部は毎年修繕費がかさむようになり、認定こども園に移行したこともあって、二年前から移転新築の計画が進んでまいりました。

当初の計画からおよそ一ヶ月遅れ、昨年十月から本格的に建設が始まりました。順調に工事が進んでいると思っていた矢先、「中国で新型コロナウイルスによる感染者が発生」というニュースが飛び込んできました。始めはよそ事として眺めていて、建設工事に直接関係してくるとは思っていませんでした。ところが二月半ばごろ、工事関係者から「資材の生産と流通がストップして、いつ入ってくるのか分からない」と知らされました。こんなところにまで関係してくるのかと、驚きました。四月一日開園は無理としても、何とか五月の連休明けには移りたい、と考えていましたが、それもできな

子どもたちに寄り添いながら

出雲組源光寺 住職
西谷正文

ナ禍の日々を送っています。今では、新園舎に子どもたちの歓声が響き渡り、笑顔に満ちあふれている毎日です。



5月に竣工した新園舎

休園となり、子どもさんを家庭で見なければならぬ方もいました。子どもたちの安心・安全を期するのが園としての務めです。マスクを嫌がる子、密になりたがる子、皮膚が敏感でアルコール消毒ができない子など、さまざまです。子どもたち一人ひとりに寄り添いながら、コロ

編集後記

今年度は、新型コロナウイルス感染症への対応のために、例年通りの行事が行えず、また、お会いしたい方々とお会いできない苦悩の日々を送っておられる方々も多いと思います。そうした中、七月に発生した豪雨災害では、深刻な被害に遭われた方々もおられると思います。ここよりお見舞い申し上げます。とともに、各種の支援活動に従事しておられます方々に敬意を表したいと存じます。

さて、今年の夏は、毎年のように参加していた本願寺児童念仏奉仕団も中止となり、元気を失っております。今思うと、存在して当たり前なことなどない、本当に稀有なつながりだったと気づかされることでもあります。

今年度から教区報担当者会に加わることとなりました、鹿足組桂正寺の岡崎正興と申します。若輩者ですが、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

合掌

伝統ある京佛具を後世に伝えたい

浄土真宗本願寺派仏具専門店
寺院用 在家用 仏壇 仏具 記念品



株式会社

古田た佛具製作所

〒600-8227 京都市下京区七条堀川上ル菱屋町(西本願寺前)
TEL(075)343-2341 FAX(075)343-0836
フリーダイヤル 0120-178-413
フリーファックス 0120-343-036

御本山御用達 開明社員

代表取締役社長 今岡規代
●本社
600-8468
京都市下京区堀川通
新花屋町角(西本願寺前)
Tel 075-351-1234
0120-075-720
Fax 075-341-7905
●東京店
160-0008
東京都新宿区四谷
三栄町十四番地二一
Tel 03-3558-1500
Fax 03-3559-8902



井筒法衣店

オンラインショップを開設しました

